

平成 19 年度 YAC x JAXA 連携・協力事業
 『ハロー・ヒューストン!! 若田光一宇宙飛行士と話そう!! ~ YAC 香川小惑星分団 ~』
 ~ テレビ会議システムを活用した宇宙飛行士との交流イベント ~

財団法人 日本宇宙少年団(YAC)(理事長 松本零士) / 香川小惑星分団(分団長 岡内 尊重)は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)(理事長 立川敬二)及び香川大学工学部(工学部長 伊藤寛)と連携・協力し、宇宙教育実践活動の拡充を目指した連携・協力事業の一環として、テレビ会議システム(米国テキサス州・ヒューストンと接続)を活用した若田光一宇宙飛行士との交流イベントを、下記のとおり開催いたします。なお、香川県及び西日本地区における同イベントの開催は初めてとなります。

また、本イベントに併せて、香川大学工学部が中心となり開発を進めている「香川衛星開発プロジェクト STARS」の紹介も予定しております。

開催目的

有人宇宙活動で活躍する宇宙飛行士との直接的対話により、団員の心に、自然と宇宙と生命への限りない愛着を呼び起こし、いのちの大切さを基盤として、好奇心と冒険心と匠の心を豊かに備えた明るく元気で創造的な「宇宙の子」「科学の子」「地球の子」を育てる。

開催概要

- 日時:**
平成 20 年 1 月 12 日(土) 9:30-11:30 (接続・交流時間帯:10:00-10:45)
- 場所:**
香川大学工学部 3301 講義室
(〒761-0396 香川県高松市林町 2217-20 電話:087-864-2007)
- 交流予定の宇宙飛行士:**
若田光一宇宙飛行士
- 対象:**



cJAXA

YAC 団員及び指導者のほか JAXA クラブ会員(小中学生)など、約 30 ~ 50 名
 本イベントは、YAC 団員・JAXA クラブ会員向けサービスのため、直接、宇宙飛行士への質疑応答はできませんが、一般・大学生の方の傍聴も可能です。(ただし、会場の都合上、定員(250名)に達した時点で応募終了とさせていただきます。)

当日の流れ

当日の開場は 9:00 より開始いたします。

| 時間帯 | 内容 |
|-------------|----------------------------------|
| 9:30-9:35 | 開会あいさつ |
| 9:35-10:00 | 有人宇宙活動について(仮)(講演) |
| 10:00-10:45 | 若田光一宇宙飛行士との交流(テレビ会議回線による接続)・質疑応答 |
| 10:45-11:05 | JAXA クラブ及び YAC / 香川小惑星分団の紹介 |
| 11:05-11:25 | 香川衛星開発プロジェクト STARS の紹介 |
| 11:25-11:30 | 閉会あいさつ |

宇宙飛行士の業務都合等により、開催前に中止・延期など変更となる場合もあります。

申込方法

(1)一般傍聴のご希望の方

下記連絡先まで、参加ご希望の方のお名前、ご住所、ご連絡先など予めお申し込みください。ただし、会場の都合上、定員(250名)に達した時点で応募終了とさせていただきますので予めご了承ください。

〒761-0396 香川県高松市林町 2217-20 香川大学工学部庶務係
TEL: 087-864-2000 FAX 087-864-2032
E-mail: koshomu4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

(2)YAC 団員の方

香川小惑星分団団員のほか、すでにYAC本部に登録済みのYAC団員・指導者の方は、優先的に希望者全員参加できます。また、YAC香川小惑星分団活動にご関心があり、体験入団をご希望の方も、是非、この機会にご参加ください。

〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分14 香川小惑星分団 岡内尊重
FAX: 087-874-0820 E-mail: takashige@mtd.biglobe.ne.jp

FAX及び電子メールで受付いたしますが、それ以外に、郵便でも受付いたします。その場合、応募者宛のご住所・お名前を書かれた返信用封筒(80円切手を貼ったもの)を同封のうえ、参加希望の方の年齢・学年、連絡先をご記入のうえ、上記まで郵送ください。

(3)JAXA クラブの方

会場のお近くにお住まいの方(小～中学生)参加をご希望の方。JAXAクラブホームページよりご応募ください。

JAXAクラブホームページ <https://www.jaxaclub.jp/>

JAXA クラブ連絡先

〒100-8260 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビルディング 2F
宇宙航空研究開発機構(JAXA) 広報部 JAXAクラブ事務局
TEL: 03-6266-6427

定員は10名です。応募が多数の場合には、厳正なる抽選の上、JAXAクラブ事務局からの連絡をもって、当選とさせていただきます。

主催・後援

- (主催)財団法人日本宇宙少年団(YAC) / 香川小惑星分団・宇宙航空研究開発機構(JAXA) / 香川大学工学部
- (後援)香川県教育委員会・高松市教育委員会・朝日新聞高松総局・山陽新聞社・四国新聞社・高松リビング新聞社・毎日新聞高松支局・読売新聞大阪本社・RNC西日本放送・NHK高松放送局
- (技術協力)NTT西日本香川支店

(参考)

若田光一 (わかた こういち)

生まれた年: 1963 年

出身地: 埼玉県さいたま市

趣味: 飛行機操縦、ハングライダー、野球、テニス、スキー

・始まりは模型飛行機

若田宇宙飛行士は、1963 年、埼玉県大宮市で生まれました。子供のころは、早起きしてクワガタやカブト虫をとったり、夕方暗くなるまでザリガニをつったりしていました。小学生になると、リトルリーグのチームで野球をしたり、模型飛行機を作って飛ばしたりして楽しんでいました。このころから飛行機に興味をもった若田少年は、航空機のエンジニアになるという夢をもち始めます。 CJAXA



・人類に貢献したい

若田宇宙飛行士は、大学と大学院で航空工学を勉強し、夢がなくなって、航空会社で航空機のエンジニアの仕事をするようになります。1992 年 4 月に、宇宙開発事業団(現在は宇宙航空研究開発機構)が宇宙飛行士を募集しているのを知り、人類に貢献できる仕事である宇宙飛行士に挑戦したいとの気持ちから応募して、みごと選ばれたのです。

・宇宙飛行士になってから

若田宇宙飛行士は、1996 年 1 月にスペースシャトル「エンデバー号」に乗りこみ、日本の人工衛星をスペースシャトルのロボットアームでつかまえるという、むずかしい作業を行いました。また、2000 年 10 月には、日本人宇宙飛行士として初めて国際宇宙ステーション組み立てに参加し、得意のロボットアーム操作で構成要素を取り付けました。2007 年 2 月、国際宇宙ステーション第 18 次長期滞在クルーのフライトエンジニアに任命され、現在訓練中です。

財団法人 日本宇宙少年団(YAC) (理事長: 松本零士):

1986 年に設立以来、次世代を担う子どもたちを対象に、宇宙および科学に関する教育実践活動や国際交流などを通じた青少年育成を実施。現在では、全国 124 分団、小学校高学年を中心に、約 3,500 人の団員、約 800 人のリーダーのもと、水ロケット製作・打ち上げ、ソーラーカーや紙飛行機などの工作、科学実験、宇宙関連施設見学や他の分団との交流会など、リーダーの特技や団員のアイデアを活かした多くの活動を実施。設立以来の YAC 経験者も、約 2 万人を超え、宇宙開発の最前線や関連組織でも活躍。(http://www.yac-j.or.jp)

香川県には、香川小惑星分団、その他四国地区には、愛媛県に 6 分団。



宇宙航空研究開発機構(JAXA)が、宇宙航空分野に興味があるけれど近づきたいなと感じていたり、これまでの JAXA ウェブサイトでは少し難しいなと感じていた青少年から大人までの一般の方々を対象に、宇宙航空をもっと身近に感じていただき、楽しみながら、興味を持ち続けていただけるよう、平成 19 年 7 月からスタートした新しいインターネットサービス。



香川衛星開発プロジェクト STARS:

香川大工学部 能見公博准教授・研究室が取り組む香川県産人工衛星。香川大の「STARS」は、約 15 センチ四方の超小型人工衛星。親機と子機をテザー(ひも)でつないだ「テザー宇宙ロボット」による姿勢制御操作の技術実証を目的に、2005 年 1 月にプロジェクトを立ち上げ、開発中。技術実証できれば、機体の小型化や低コスト化が期待できる。来年夏、HII-A ロケットで衛星と相乗りさせて打ち上げる小型衛星に選ばれている。

